

■ 準備編

AMD Socket AM5採用CPUのRyzen 9000シリーズをベースに構成したPCを、組み立てていこう。まずは、自作PCに必要なパーツなどを確認しよう。

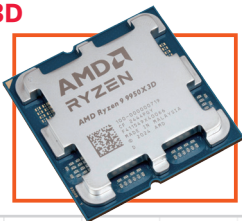
01. 自作PCに必要なパーツ、工具などを用意する

今回、組み立てに使用したパーツ

CPU

Ryzen 9 9950X3D
■AMD

→ゲームに効く、大容量キャッシュに加え、16コア/32スレッドを搭載する最上位CPUの一角。



CPUクーラー

NAUTILUS 360 RS ARGB
■CORSAIR

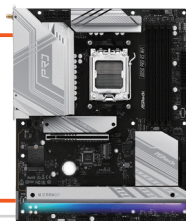
→オールインワン水冷クーラー。高い冷却性能を発揮する360mmサイズラジエーターを搭載する。



マザーボード

B850 Pro RS WiFi
■ASRock

→Socket AM5プラットフォーム向けとなるAMD B850チップセットを採用するATX規格のマザーボード。



メモリ

VENGEANCE 32GB DDR5
■CORSAIR

→Socket AM5で採用されたDDR5規格。Ryzen 9000シリーズは、DDR5-5600MHzに対応している。



ビデオカード

Radeon RX 9070 XT Challenger 16GB
■ASRock

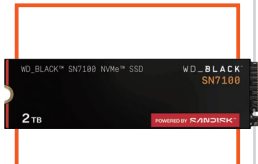
→最新ゲームタイトルを楽しむAMD Radeon RX 9070 XTを搭載する人気ビデオカード。



ストレージ(SSD)

WD_Black SN7100 NVMe SSD 2TB
■Sandisk

→最大7250MB/秒の読み出し速度を発揮。PCIe4.0×4対応SSDの定番モデルのひとつとなる。



PCケース

FRAME 4000D RS ARGB
■CORSAIR

→組みやすさ、高エアフロー、構成を選ばない高い拡張性を備えた1台。LEDファンを標準搭載する。



電源ユニット

RM1000x 2024 Cybenetics Gold ATX3.1
■CORSAIR

→人気のRMx 2024シリーズの容量1000Wモデル。本構成は750W～850Wで動作に不安はないが、余裕のある1000Wを選んだ。



OS

Windows 11 Home 日本語 リテール版
■Microsoft

→ライセンスが、ユーザーに紐づけられるため、扱いやすい。インストールUSBメモリが付属する。



組み立てに必須なものと、あと役立つものはこれ

必須 ★★★★★ プラスドライバー

→ドライバー先端のサイズは2番のほか、1番があるとスムーズに組み立てできる。先端がマグネットになっているタイプがおすすめ。

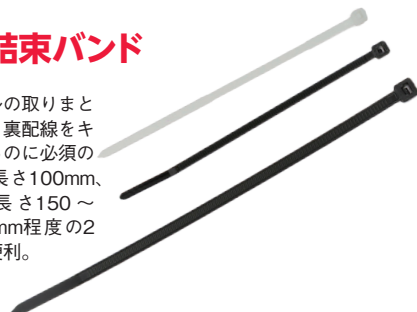


役立つ ★★★★★ 精密、ナットドライバー

→ツールレス化が進んでいるが、M.2 SSDの取り付けに精密ドライバーが必要なマザーボードがある。ナットドライバー（対辺5mm、M2.5ネジ用）は、PCケースのスペーサーの固定にあると便利だ。

役立つ ★★★★★ 結束バンド

→各種ケーブルの取りまとめに使用する。裏配線をキレイに仕上げるのに必須のアイテムだ。長さ100mm、幅2.5mmと、長さ150～200mm、幅5mm程度の2種類があると便利。



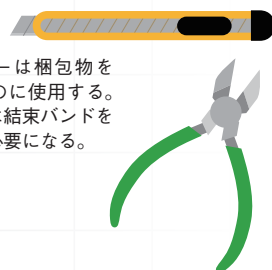
役立つ ★★★★★ 静電防止手袋

→手の脂や汚れをパーツにつけないようにするとともに、作業中の怪我防止におすすめ。



役立つ ★★★★★ カッター、ニッパー

→カッターは梱包物を開封するのに使用する。ニッパーは結束バンドを切るのに必要になる。



役立つ ★★★★★ ネジ入れ

→PCケース付属ネジなどを入れておくのに、便利。組み立て後のネジの保管にもおすすめ。豆皿（しょうゆ皿）などを流用するのもありだ。



役立つ ★★★★★ 新聞紙・梱包紙

→作業中の絶縁、机に傷をつけないように、下に敷きたい。マザーボードの箱を作業台にする際にも使える。

